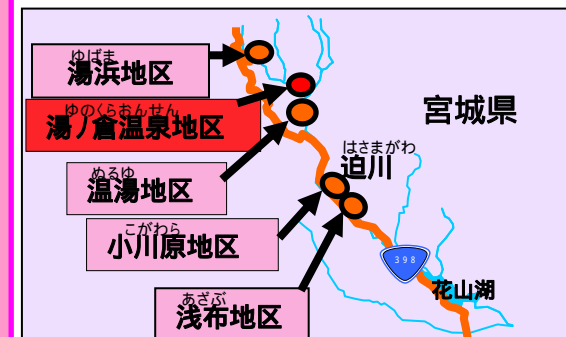


- ・10月24日の降雨により湯ノ倉温泉地区では河道閉塞(天然ダム)を越流したことによる侵食を確認
- ・10月25日に砂防専門家による現地調査を実施
- ・閉塞土塊がパイピング等の影響により決壊する可能性は低くなったものの、今後の出水による侵食及び湯浜地区において同様の現象が発生する懸念



降雨の状況(湯ノ倉温泉地区工事現場の観測雨量)

- ・累加雨量: 106mm(24日2:00~21:00)
 - ・最大時間雨量: 12mm
- 岩手・宮城内陸地震以降最大の連続雨量

湯ノ倉温泉地区流出状況

25日9時現在の概略測量結果による

- ・侵食された土砂量は約10万m³
- ・水位低下約10m(24日16:40~17:40)
- ・流出量 約30万m³

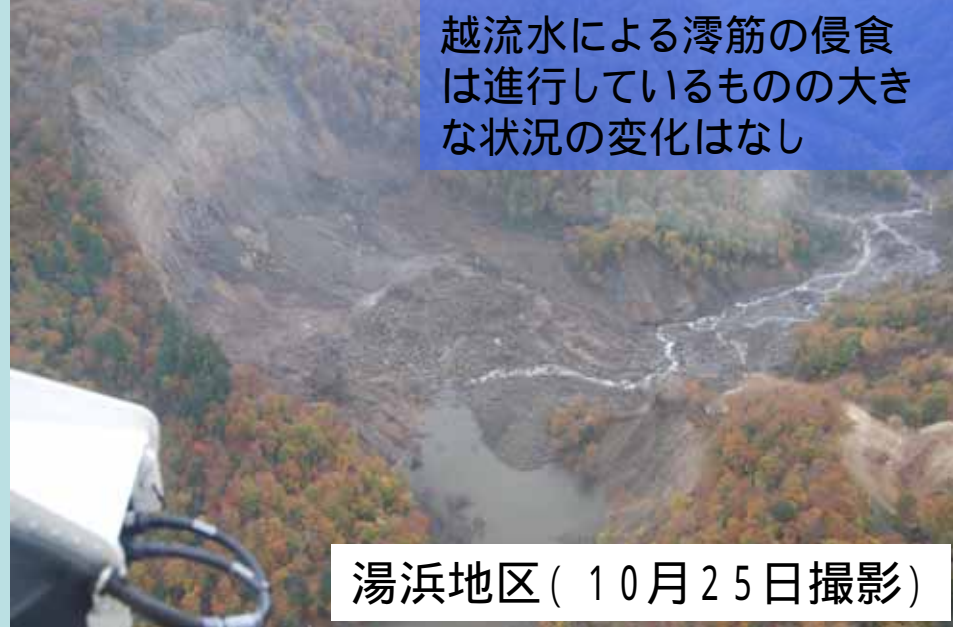
速報のため、数字は今後変わることがあります



湯ノ倉温泉地区(10月25日撮影)



湯ノ倉温泉地区(10月25日撮影)



越流水による澱筋の侵食は進行しているものの大きな状況の変化はなし

湯浜地区(10月25日撮影)



出水前

迫川

下流の2つの砂防えん堤において緊急除石工(20,000 m³)を実施

温湯地区(9月19日撮影)



出水後

流出土砂を捕捉

温湯地区(10月25日撮影)

